

行政視察等報告書

令和2年3月5日

米子市議会議長様

会派名 よなご・未来
代表者氏名 西川章三
提出者氏名 国頭靖



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	国頭靖、西川章三、矢倉強
期日	令和2年2月17日から令和2年2月18日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 市政に関する視察 2月17日 参議院議員会館 上下水道の一元化について（国土交通省、厚生労働省） 2月18日 参議院議員会館 がん対策と国民健康保険の今後について（厚生労働省）	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 198,150円

行政視察報告書

日時：令和2年2月17日（月）14：30～16：30

場所：参議院議員会館 1階 102会議室

題名：上下水道の一元化

説明者：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道企画課 吉田 企画専門官

厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課 市川 技術係長

所感

最初に上水道は厚労省であり説明があった。最近の水道行政について、人口減少社会の水道事業について、節水機器の普及や人口減少等により、有収水量は2000年頃をピークに減少傾向にあり、2050年頃には、ピーク時の約3分の2程度まで減少する見通しであり、投資額の約6割は主に管路が占めており、今後20年間で更新が必要な管路は、1980年以前に整備された153.700キロ、全体の23%程度と予測され、これらを平均的に更新するには、1.14%程度の更新率が必要となる。管路の耐震適合率は鳥取県は25.5%と全国の中でも低い。全国に6000以上の水道事業者があり、小規模で職員数が少ないところが非常に多い。経営基盤が弱い事業者が多いことから今後広域化が求められる。またコンセッション方式など民間委託も今後検討される。

国交省の下水道の説明も管路の老朽化により汚水処理施設の統廃合について450地区で取り組み実施。全ての都道府県における広域化・共同化に関する計画策定。水道、下水道のいずれにしても管路の維持管理、更新に今後効率、広域化が望まれる。当市においても一元化についてはメリットデメリットの検討に入るべき時に来ているのではと感じざるを得ない。

日 時：令和2年2月18日（火）10：00～12：00

場 所：参議院議員会館 1階 102会議室

題 名：がん対策と国民健康保険の今後

説明者：厚生労働省 保険局・国民健康保険課 山口 在宅医療・健康管理技

術推進専門官

保険局 国民健康保険課 菅原 企画法令係

健康局 がん・疾病対策課 寺村 主査

所 感

まず最初に、がん対策について説明を受けた。がん治療の進歩によりガン生存率は上がっているのに、我が国の人口に対するがん死亡率は低くなっていると思えば、羅感者が国民の3人に1人から2人に1人に向かっており、上がり続けていることに驚きを受けた。生存率は増えても羅感者が増えてはどうしようもない。平成18年に国はがん対策推進基本計画を作り都道府県にがん対策推進計画を作らせているが、その内容は国においても都道府県に対しても基本計画、推進計画にしても着実に進められてきたのか疑問に感じた。特に基本計画第2節のがん医療の均てん化の促進の専門的な医療従事者の育成やがん医療に関する情報の収集提供体制の整備など特に地方は遅れすぎていることを担当の方にお伝えした。また第5節の学校教育等におけるがんに関する教育の推進のようなものは当市や県において取り組まれているのか不安にも感じた。また、平成30年からの第3期基本計画についてさらに詳しく知りたいと感じた。

がんゲノム医療は進むのかもしれないが、やはり早期発見、早期治療、それも地方でも都市部と変わらぬレベルの専門医の治療をやはり望むものです。厚

労省のホームページには地方自治体向けの受診率向上施策ハンドブックや全国各地の先進事例をまとめている。私は平成28年に出来たがん登録は個人的であるが本当に地方までしっかり浸透しているのか疑問に感じている一人だ。

次に、国民健康保険の保険者に対する支援について説明を受けた。保険者に対し国は努力支援制度を設けているが、着実に保険者は特定健診・特定保健指導などの実施など国から与えられた保険者共通の指標等取り組んできたのだろうか。個人へのインセンティブの提供や糖尿病等の重症化予防の取り組み、法定外繰入れの解消などの計画を作っただろうか等国に支援を求めるだけでなく地方でやれるべきことはしっかりやっているのかを確認すべきと感じた。忙しい中両日、勉強の担当の職員さんに指導頂いたことに感謝し、国の考えやこれを基に当市で地方で出来ることはしっかりと取り組んで見たいと感じた。

行政視察行程 (会派：よなご・未来 国頭 靖、西川章三、矢倉 強)

月 日	行 程	宿 泊 地
2/17 (月)	<p>9:00 米子空港 羽田空港 10:50 ANA384 便</p> <p>10:15 羽田空港 10:50 東京モノレール空港快速 ・浜松町行</p> <p>11:09 浜松町駅 11:20 JR 山手線内回り ・東京方面</p> <p>11:27 東京駅 12:57 国会議事堂前駅 東京メトロ丸の内線 ・方南町行</p> <p>13:03 参議院議員会館 ** 徒歩</p>	<p>アパホテルプライ ド国会議事堂前 ☎03-5157-2811</p>
2/18 (火)	<p>厚生労働省行政視察 午前10時から2時間程度 【調査項目】がん対策と国民健康保険の今後について</p> <p>国土交通省、厚生労働省行政視察 午後2時30分から2時間程度 【調査項目】上下水道の一元化について</p> <p>参議院議員会館 12:52 タクシー</p> <p>13:10 浜松町駅 15:10 羽田空港 東京モノレール空港快速 ・品川方面</p> <p>16:35 米子空港 ANA385 ・羽田空港行</p>	

